科目名	地方経営論（まちづくり）　　Local Business Administration						
科目担当者	甲斐 睦教　　KAI Mutsunori						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修					ディプロマポリシーとの関連	(4)(5)
授業の概要	国や自治体は国土や地方の発展のために、産業振興、中小企業支援、観光の誘客、貿易促進などこれまで多くのことに取組んできました。その実例などを通して自治体の政策や成果、そこから浮かんでくる地域の姿を学びます。 さらにこれからの地方創生に向けた新たなまちづくりや地域活性化のための取組みについても探求し、理解を深めます。 この講義では、宮崎県庁に 31 年間勤務した経験を踏まえ、地方創生に関する施策の実例を紹介し、実践的感覚を養います。						
授業の到達目標	①　産業、観光、農業などを通しての地方自治体による地方創生政策を学習する。また国の総合開発政策を始めとする地方に影響を及ぼす政策を理解する。 ②　各政策についての成功要因や問題点を自ら考察する。 ③　地方創生の手法を理解し、自ら政策を考案してみる。						

授業計画・内容		
	1	地方経営の基本的な考え方
	2	国のこれまでの総合開発計画
	3	国の地域産業振興方策事例（新産業都市とテクノポリス）
	4	産業振興政策（中小企業育成１，中小企業の実態）
	5	産業振興政策（中小企業育成２、経営及び事業支援）
	6	起業支援と企業誘致
	7	観光振興政策（観光整備と誘客）
	8	観光振興政策（リゾート開発と誘客）
	9	国際化への取組み
	10	市町村の取組み（都市部）
	11	市町村の取組み（町村部）
	12	地域ブランド化への取組み
	13	中山間振興政策
	14	文化行政（図書館、博物館等の活用）
	15	今後の地方経営の課題と展望

授業外学修 (事前学修)	毎回授業の項目について予習し、要点や不明な点を整理する。(2 時間程度)
授業外学修 (事後学修)	毎回授業内容について要点を整理し、ノートにまとめる（2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 2 回の課題の提出	80% 20%	①、②、③ ①、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	なし
参考文献	日経トップリーダーほか共著『地方創生実現ハンドブック』 椎川忍ほか著『知られざる日本の地域力』今井出版
その他	